



令和 7 年度 多様な主体間における連携・協働による『避難生活支援・防災人材育成
エコシステム』構築の具体化に向けた検討会 研修カリキュラム検討チーム」

避難生活支援コーディネーター研修 について



令和6年度からの避難生活支援コーディネーターの人材イメージ、育成等について検討を進めている。

資料 3－2 のとおり、コーディネーター育成の目的等に関する事項をまとめた。

1. 避難生活支援・防災人材イメージ
2. 避難生活支援コーディネーターの選出等（案）
3. コーディネーターに求められる役割・資質（案）



災害関連死ゼロを目指して、避難生活支援コーディネーターの育成を進める必要がある。

避難生活支援コーディネーターの人材イメージ、
求められる役割等に関して、
下記の視点から、ご意見をいただきたいです。

1. 避難生活支援コーディネーターの人材イメージ

・

2. コーディネーターに求められる役割・資質

・ 役割・資質の内容は適切か



	リーダー／サポーター	コーディネーター	専門アドバイザー
災害ボランティア 人材のモデル	一つの避難所において、応援職員、住民代表等と連携し、避難生活の環境向上に率先して取り組むことができる人材	自らの経験とスキルを活かして、一つの避難所に常駐又は複数避難所を巡回し、応援職員、各種専門職チーム、市町の避難所担当職員等と連携し、避難生活の環境向上に取り組むことができる人材	被災地に派遣される専門職チームの一員又は地元の専門職として、ボランティアや応援職員と連携しながら、諸課題の解決に取り組むことができる人材
求められる 人材像	- 避難所運営等について、改善点を自ら見出し、実践していける存在 - 性別等の多様性の観点を考慮し、一つの避難所に複数いることが望ましい ※コーディネーター、専門アドバイザーと連携した活動を想定	- 日常的に、防災・被災地支援のみならず、男女共同参画、福祉など専門的なスキルを活かした活動をしていることが望ましい - 避難所にこだわらず、在宅避難者支援なども含む避難生活支援全般に関わる（状況にあわせて、1つの避難所に特化する場合もあれば、複数の避難所を巡回する場合も想定）	- 避難生活支援の環境改善のために、医療・保健・福祉等の専門的な知見を活かした支援・助言ができる人材を想定（安定して人材を拠出できる組織に所属） - リーダー/サポーター、コーディネーターそれぞれの役割を理解して、必要に応じて連携して活動を展開することを想定
選出方法	- 研修開催自治体において、避難所設置・運営に関わる住民のほか、防災に関わらず、地域活動に関わる多様な主体を想定（住民、ボランティア、NPO、企業、大学生など） - 公募・個別打診して、研修参加を呼びかける	- リーダー/サポーターからのスパイラルアップ、内閣府会議委員からの推薦によって選出する想定。 - また、リーダー/サポーター研修講師を担うほかスキルアップ研修の受講を想定	- 専門職などを対象に、特定の研修プログラムを提供し、受講した方に名称を付与する想定。 - 日赤救護班・DHEAT・DWAT等の登録者と、コーディネーターは平時からの情報交換等を通じて相互理解の醸成が図れることが望ましい

1. 避難生活支援コーディネーターの人材イメージ



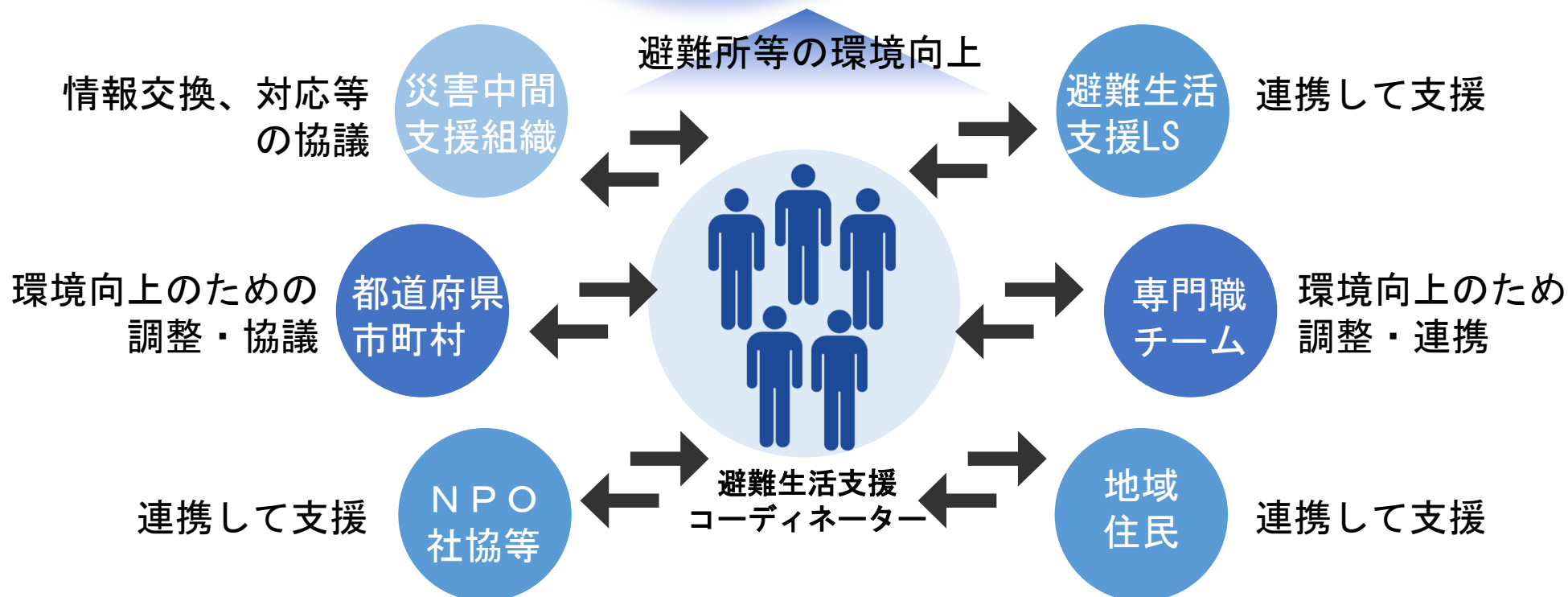
【課題】

中長期化する避難所において、

- 運営体制が整っていない
- 各種支援もばらつきがあり、必要な支援が届けられていない

【ねらい】

- 自らの経験とスキルを活かし、自治体・専門職チーム、NPO、災害中間支援組織、地域住民等と連携して、避難生活の環境向上に取り組む





【コーディネーターに求められる役割（案）】

①避難所・避難生活における課題の把握と整理

- ・ 避難生活の環境、避難所等で利用されている制度や支援の実態把握
- ・ 避難生活における課題の把握とその要因分析

②被災者一人ひとりの状況把握と個別対応

- ・ 被災者一人ひとりが置かれている状況の把握、困りごとの整理
- ・ 必要に応じた個別の声がけ、同行、つなぎなどの対応

③具体的な改善方策の検討

- ・ 環境改善や課題解消に向けて考えられる様々な対応策の検討
- ・ 対応策に関わる支援者の把握
- ・ 被災者のコミュニティ形成の支援

④改善方策の実現に向けた各種調整・実践

- ・ 対応策を実現するために行政、専門職、支援者、避難当事者等との各種調整、関係機関との協議、具体的な対応の実践

⑤平時からの活動・人材育成

- ・ 平時から、防災・減災、男女共同参画、福祉などに関する活動への参加
- ・ 避難生活支援リーダー/サポーター研修の講師や避難生活支援に関する研修・訓練等への参加を通じて、地域の人材育成

【コーディネーターに求められる資質（案）】

①避難所・避難生活における課題等の理解

- ・ 災害関連死防止の必要性、避難所・避難生活において陥りやすい課題の理解
- ・ 被災者一人ひとり、多様性の理解、具体的な配慮

②被災者との信頼関係づくり

- ・ 被災者の置かれている状況を理解するため、支援につなげるための信頼関係づくりのためのコミュニケーション力

③連携・協働を生み出す調整力

- ・ 具体的な改善に向けた企画・提案・調整・合意形成等の技術と経験
- ・ 支援者（被災者も含む）の力を発揮できるような協調性、エンパワーメント
- ・ 調整等を円滑に進めるコミュニケーション、ファシリテーション

④自らの強み・特性の理解と実践力

- ・ 日常業務、これまでの経験で培われた専門性・個性などを自らが理解し、支援や調整などの実践に活かせる技術と経験
- ・ 日常的に専門性を活かした実践

⑤被災者支援に関する各種制度の理解

- ・ 避難所の環境改善に活用できる制度や被災者の生活再建に関する制度を理解し、わかりやすく説明できるスキル
- ・ 生活再建に関わる日常的な福祉サービスや制度、被災者支援に関わる行政、専門職等の特徴やしぐみの理解

3. 避難生活支援コーディネーターの選出等（案）

選出	多様な主体間における連携・協働による『避難生活支援・防災人材育成エコシステム』構築の具体化に向けた検討会委員からの推薦			
人物像	- 被災地支援（避難所運営を含む）の経験を有する - 日常的に、防災・被災地支援のみならず、男女共同参画、福祉など専門的なスキルを活かした活動に従事 - 研修講師、被災地支援活動が可能であること			
選出過程（スパイラルアップ）	LSモデル研修 の受講	スキラアップ 研修の受講 LS研修講師 養成研修の受講	LS研修 アシスタント 講師の経験	被災地 OJT派遣
	【1回以上】	【全プログラム受講】	【2年以上の経験】	【1回以上】
支弁	➤ 旅費交通費・日当	➤ 旅費交通費・日当	➤ 旅費交通費・報酬	➤ 旅費交通費・報酬
選出方法	研修の全過程を修了した候補生について、講師陣・検討委員による議論を経た上で、コーディネーターに選定するのでよいのではないか。			